

Question 10

腰

変形性  
腰椎症

痛み、しびれが強い。  
メチコバール<sup>®</sup>以外に治療法は？

81歳・男性。変形性腰椎症で神経への圧迫が強く、腰の痛み、脚の痛み、両足先にしびれがあります。現在メチコバール<sup>®</sup>を服用していますがよくなりません。主治医は「痛みはしよがない」とあまり真剣に取り組んでくれません。ほかの薬や理学治療はないのでしょうか。高齢なので手術はしたくありません。  
(愛知県 G・K)



私が  
回答します

望クリニック整形外科  
院長  
**住田憲是**  
すみた かずよし  
〒171-0032  
東京都豊島区雑司が谷2-4-1  
TEL 03-3986-7889  
http://www.nozomi-clinic-japan.com/

Answer  
関節機能障害に効果のある薬はない。  
AKA-博田療法を試してみても？

変形性腰椎症と診断されたとのことですが、これはおそらくエックス線上で、老化による腰椎の変形が見られたためにつけられたものだと思います。現在の整形外科では腰下肢の痛みやしびれの診断のほとんどを、エックス線やMRI(磁気共鳴画像)などの画像上の変化によって行います。

画像に異常がなくても症状が出る方や、逆に画像上に異常な所見があっても症状がない方も多いことが最近の研究でわかってきました。つまり、画像上の変化が痛みやしびれなどの症状の原因かはわからないということです。  
このことは整形外科医の間では常識となりつつありますが、画像

診断のほかによい診断法がないので画像診断を続けているというのが現状です。腰下肢痛やしびれに対して、画像上の変化を手術で正してもなかなかよくなるという方が多い理由はここにあります。

診断と治療が可能  
最新の治療法が開発された

この状況を解決するために開発されたのが「AKA-博田法」(以下AKAと表記)です。AKAは正確には「関節運動学的アプローチ」といいます。関節内部の動きが障害された状態を手術により改善する、診断と治療を兼ね備えた最新の技術で、博田節夫先生により開発されました。

まずAKAを受けてみて  
改善されれば薬もやめる

ご相談の方も、症状の真の原因を診断するためには画像の変化による病名にとらわれず、まずAKAを受けてみてはいかがでしょうか。体に負担がかかる治療ではありませんし、同じ症状の方の多くが改善されています。

また、AKAに反応がある場合、痛みの原因は関節機能障害です。で、神経を治療するメチコバール<sup>®</sup>のような薬は効きません。関節機能障害を治す薬はないので、やはりAKAで機能障害の有無を診断し、治療するのがよいと思います。  
ただし、AKAは難しい技術ですので、術者によってかなり差が出てしまいます。そのため経験豊富な専門医による治療をおすすめします。